

## 第4次安倍内閣発足

立冬を過ぎて朝晩の冷え込みも強まり、防寒着を身に纏い通勤・通学する人々の姿も多く見られるようになりました。政府及び与党内では、年末の予算編成に向けて激しい議論が続いていますが、医療・介護等の社会保障の充実のために必要な財源を確保しなければと強く思うところです。

さて、先月に行われた衆議院総選挙は、「希望の党」や「立憲民主党」が公示を前に立ち上げられるなど、予断を許さない選挙戦となりましたが、ご案内のとおり自民・公明の連立与党が3分の2を超える議席を確保し、引き続き安定した政権運営を担うこととなりました。

総選挙後の特別国会は11月1日に召集され、衆議院議長並びに副議長を選出したのち衆参両院の本会議において首班指名選挙を行い、第98代内閣総理大臣に自民党の安倍晋三総裁を指名しました。指名を受けた首相は直ちに組閣に臨み、前回の8月の内閣改造から間もないことから前任の閣僚全員を再任して、第4次安倍内閣を発足させました。第4次内閣の発足は、吉田茂元首相に続き戦後2例目、在職日数も佐藤栄作元首相、吉田茂元首相に次ぎ戦後3番目となりました。

今国会の会期は12月9日までの39日間となります。米国のトランプ大統領の初訪日やベトナムでのAPEC首脳会議の開催などの外交日程が11月前半に詰まっていること、予算委員会等の委員会の開催を野党が強く求めたこともあって、特別国会としては異例の日程となり、首相の所信表明演説は17日に行われました。

安倍首相は、我が国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しいと言っても過言でない状況にあり、国民の信任を背景に積極的な外交を展開していくこと及び国民の命と平和な暮らしを守るため、最善を尽くすことを表明しました。また、急速に進む少子高齢化は正に最大の課題であり、その克服を図るため、人工知能、ロボット、IoTなど、生産性向上のイノベーションを実現する「生産性革命」、幼児教育の無償化や大学改革、子育て、介護等の現役世代もお年寄りも安心できる全世代型の社会保障制度など、人生100年時代を見据えた「人づくり革命」を断行すると、所信を述べました。

この後、衆参両院において所信表明に対する各党の代表質問、予算委員会での質疑が行われます。少子高齢化に対応した社会保障制度の整備やエスカレーターする北朝鮮の挑発行為への対応などの外交安全保障等、安全・安心の国づくりにむけて多くの難題が山積するなか、与野党の真摯な議論を望みたいと思います。